

新年の幕開けを盛り上げた杉戸の元気と笑顔 新春100人商店街

1月18日（土）、地域で活動する多彩な人々が集い、交流の輪を広げた「新春100人商店街」が、ココティすぎと広場と「ひとつ屋根の下」（以下、ひとつ屋根）で開催されました。

芝生広場に練り歩き楽団YATTE&MIROTT（ヤッテミロツ）の演奏が響くと、手拍子が広がり、続く山車を囲んでの盆踊りがさらに熱気を高めます。その盛り上がりの中、「お菓子まきまき」へと突入。「お菓子、ほしいかー！」の掛け声に、子どもも大人も一斉に手を挙げ、夢中でお菓子を追う姿が印象的でした。また、お面づくりや書き初めの体験コーナーも人気でした。お面づくりは、作ったお面をその場で身につけられる楽しさ、書き初めは、大人も子どもも筆を手に思い思いの言葉をしたためる体験が、多くの人を夢中にさせていました。活気と笑顔に包まれた「新春100人商店街」。新しい年の幕開けを賑やかに祝うひとときとなりました。



コミュニティセンターからのお知らせ

★ストリートデザインスクール@杉戸

ストリートデザインスクールは、公共空間等利活用のプロセスを実践的に学べるまちづくりスクールです。東口通り線周辺エリアを舞台に受講生がイベントを企画しておりますので、是非お越しください。

開催日：3月1日（土）

会場：愛宕神社、みなみがわ散策道

※荒天時は3月2日（日）へ延期となります。詳細は随時杉戸町市街地整備推進室Instagramにて発信していきます。SNSアカウントのフォローをお願いいたします。

杉戸町市街地整備推進室Instagram▷@nextstage_sugito

★杉戸町コミュニティセンター 利用者懇談会

12月は利用者アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。この度年に一度の利用者懇談会を開催します。皆様のご意見をもとにより良い施設づくりを進めていきます。ぜひご参加ください。

開催日：3月9日（日） 10:00～11:30

会場：ココティすぎと

※定員100名・事前申込制です。

コミセンからこんにちは ～スタッフコメント～



今月の担当者
渡邊

3月2日より「すぎと町民ライター講座」が始まります。取材のポイントや文章の書き方をレクチャー！文章の添削も行いますよ。杉戸や周辺地域の魅力を一緒に伝えていきましょう！受講者、まだまだ募集中です！

杉戸町コミュニティセンター

〒345-0036

埼玉県北葛飾郡杉戸町杉戸3丁目9番10号

TEL：0480-53-7400

Eメール：sugito.community@machikatsu.co.jp

開館時間：午前9時～午後9時30分

休館日：年末年始（12月29日～翌1月3日）

ホームページや各種SNSもぜひご覧ください！



Instagram



Facebook



ホームページ



コソク講座
予約サイト

作り手の想いが届く ココティすぎと『みんなの朝市』



イベントレポート

新年の幕開けを盛り上げた杉戸の元気と笑顔
新春100人商店街

すぎとNewsとは？

すぎとニュースとは、杉戸町コミュニティセンターの情報誌で毎月1回発行します。内容は、センターで活動している団体や、まちのキーパーソンの紹介、センターや町が主催のイベント情報などを予定しております。PRしたいことなどございましたらぜひ情報をお寄せください！

特集

作り手の想が届く ココティすぎと『みんなの朝市』

今月の『すぎとNEWS』特集は、ココティすぎとで開催される『みんなの朝市』です。新鮮な野菜と、作り手の想いがあふれる朝市の魅力をご紹介します。



ユー・ファーム 秋山 勉さん

秋山さんご夫妻が語る 野菜づくりと朝市への想い

仲睦まじいやり取りが印象的な秋山さんご夫妻は、杉戸町大塚にある農園「ユー・ファーム」できゅうりやトマト、ナス、ブドウなどを育てています。「安心して食べられる野菜」を届けるお二人に、ココティすぎとで開催する「みんなの朝市」についてお話をうかがいました。



ユー・ファーム 秋山 央子さん

こうして生まれた「みんなの朝市」

野菜の直接販売は、地域のご縁から始まりました。空き店舗だった「鮮魚川市」の店主家族に声をかけてもらったのがきっかけです。販売を続けるうちに行政の紹介でイベントにも参加し、ココティすぎとでの朝市へと発展しました。「農業を始めた頃からお世話になっているので、話しやすかったのかも（笑）」と勉さん。現在はココティと川市の2か所で販売、スーパーにも新鮮な野菜を届けています。



にぎやかな朝市がくれる元気の源

ココティの朝市は、子育て世代の明るさやエネルギーに触れることで、元気をもらうことも多いと言います。「川市はゆったりしていて、お話好きな方も多いから、お茶を飲みながら話すこともあるんです。朝市は忙しさが違って、本格的にお店をやっている感覚になりますね（笑）」と央子さんは話してくれました。明るい雰囲気の中で得られる前向きなエネルギーも、朝市ならではの魅力です。



野菜と一緒に作り手の想いを届けたい

「もっと上手に、野菜と料理を結びつける説明ができたらと思っています」と勉さん。珍しい野菜でも、食べ方を伝えることで、食卓での楽しみが広がると考えています。また、販売する野菜には、「誰が育てたのか」がわかるよう作り手の名前が明記されています。「顔が見えることで安心して選んでもらえると思います。味で勝負しているので、ぜひ違いを楽しんでほしいですね。央子さんも「旬の野菜の面白さを、気軽に楽しんでもらえたら嬉しいです」と語ります。お二人が届けるのは、作り手の想いと季節の恵みが詰まった、特別な野菜たちです。



「みんなの朝市」ここが魅力！

珍しい野菜が揃う！

「農家仲間であつと珍しい野菜を作る人がいるんです」と、勉さんが話すように、コリンキーやバターナッツ、アスパラ菜など、なかなか見かけない野菜が並びます。季節ごとの旬の野菜も楽しみのひとつです。

野菜の個性が溢れる！

販売する野菜には作った人の名前が表記されています。誰が作ったかわかることで安心してもらえ、その人ならではの個性も伝わります。勉さんも「同じ野菜でも、人によって味が違うんですよ」と話します。野菜を通して人との繋がりができていることも特徴です。

食べる楽しみが深まる！

ココティの朝市には、食の安全や新鮮さに関心を持つ若い世代が多く訪れます。珍しい野菜にも興味を示し、食べ方について質問されることが多いそうです。どなたでも気軽に立ち寄れる、活気ある雰囲気がココティの朝市にはあります。



朝市を支える2人の仲間

秋山さんご夫妻と同じく、ココティでの朝市を盛り上げてくださっているのが、「こころ農園」の篠宮雄治さんと、「すこやか農園」の沼沢美智子さんです。お二人からのメッセージをお届けします。

こころ農園 篠宮雄治さん

「直接」だからこそ、特別な想いが生まれます

事前の告知も無く、お客さんに来てもらえるだろうか、と不安を持ちつつ、「やってみることに意味がある！」と、野菜の直売を始めてみました。挑戦してみると、町内外を問わず、良き仕事（野菜）を感じてもらえれば商いは成り立つことを、改めて実感。お客さんと直接会話し、野菜を手渡し、直接、「ありがとうございます」を伝える。こうしたイベントは特別な想いを生みます。今後とも、無理なく出来る範囲で続けたいと思っています。



すこやか農園 沼沢美智子さん

育てる環境や体へのやさしさ考えた野菜をぜひ

自分の病を通じて「健康寿命」を意識するようになり、育てる環境や体へのやさしさ考えた野菜を販売しています。野菜のほかに、青森産のブルーベリーのような自家製黒ニンニク、香川産小魚と奄美大島産さびのオリゴ糖を使用した、ほのかな甘さがくせになる「おさかなポリポリ」もご用意しています。販売を通じて地域の方々と世間話を楽しんだり、私がコミュニティセンターで開催している「歌声サロン」にも朝市を通じて参加していただいたり、朝市は私にとって大切なコミュニケーションの場です。



2025 年も
「みんなの朝市」が
始まります！

📅 開始：2025 年 2 月 27 日（木）、3 月 13 日（木）以降、不定期開催
📍 会場：ココティすぎと
📢 最新情報は Instagram や Facebook などでお知らせいたします。
※野菜の入荷数によって開催が変更される場合がございます。
ご了承ください。